

別記第3号様式（第5条，第7条，第8条関係）

その1（建築物用）

整備基準適合確認表

整備項目	整備基準の内容	設計内容	適合状況	
1 出入口	ア 内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否	
	イ 戸を設ける場合は，自動開閉し，または車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否	
	ウ 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否	
2 廊下等	ア 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	イ 段を設ける場合			
	(ア) 手すりの設置		合・否	
	(イ) 回り段を設けない		合・否	
	(ウ) 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	(エ) 段は，識別しやすく，かつ，つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否	
	(オ) 段の上端に近接する廊下等および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否	
	(1) 1の項の出入口から室の各出入口までの廊下等	ア 内のり幅120cm以上	(幅) cm	合・否
		イ 車椅子が転回できる部分を末端付近および50m以内ごとに設置		合・否
		ウ 高低差がある場合は，(3)の傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
エ 1の項の出入口ならびに4の項のエレベーターおよび特殊構造昇降機の昇降路の出入口に接する部分が水平			合・否	
(2) 建物の出入口から受付等までの廊下等	視覚障害者誘導用床材の敷設または音声誘導装置等の設置	(講じた措置)	合・否	
(3) 傾斜路およびその踊り場	ア 内のり幅120cm以上（段を併設する場合は，90cm以上）	(幅) cm	合・否	
	イ 勾配12分の1以下	(勾配)	合・否	
	ウ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否	
	エ 手すりの設置		合・否	
	オ 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	カ 傾斜路が踊り場および廊下等と識別しやすい	(講じた措置)	合・否	
	キ 傾斜路の上端に近接する廊下等および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否	
3 階段	ア 手すりの設置		合・否	
	イ 回り段を設けない		合・否	
	ウ 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	エ 段は，識別しやすく，かつ，つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否	

		オ 階段の上端に近接する廊下等および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否	
4	エレベーター				
	(1) 1以上のエレベーター ((2)の建築物に係るものを除く。)	ア 利用階に停止する次のイからシまでに定める構造のエレベーターの設置	(設置数)	合・否	
		イ 籠の床面積1.83㎡以上	(床面積) m ²	合・否	
		ウ 籠の奥行き(内のり)135cm以上	(奥行き) cm	合・否	
		エ 籠は、車椅子の転回に支障がない形状		合・否	
		オ 籠内に停止予定階および現在位置の表示装置の設置		合・否	
		カ 籠内に到着階および戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置		合・否	
		キ 籠および昇降路の出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否	
		ク 籠内および乗降ロビーに車椅子使用者用制御装置の設置		合・否	
		ケ 籠内および乗降ロビーに視覚障害者が円滑に操作できる制御装置の設置		合・否	
		コ 乗降ロビーにケの制御装置の位置を知らせる視覚障害者誘導用床材の敷設		合・否	
		サ 乗降ロビーの幅および奥行きの内のり150cm以上	(幅) cm (奥行き) cm	合・否	
		シ 乗降ロビー等に昇降方向を知らせる音声装置の設置		合・否	
		(2) 1以上のエレベーター (学校等および共同住宅等に係るものに限る。)	ア 次のイからコまでに定める構造のエレベーターの設置	(設置数)	合・否
			イ 籠の奥行き(内のり)135cm以上	(奥行き) cm	合・否
	ウ 籠内に停止予定階および現在位置の表示装置の設置			合・否	
	エ 籠内に到着階および戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置			合・否	
	オ 籠および昇降路の出入口の内のり幅80cm以上		(幅) cm	合・否	
	カ 籠内および乗降ロビーに車椅子使用者用制御装置の設置			合・否	
	キ 乗降ロビーの幅および奥行きの内のり150cm以上		(幅) cm (奥行き) cm	合・否	
	ク 乗降ロビー等に昇降方向を知らせる音声装置の設置			合・否	
	ケ 視覚障害者が円滑に操作できる籠内および乗降ロビーの制御装置の設置			合・否	
	コ 籠内に鏡の設置			合・否	
5	便所				
	(1) 車椅子使用者用便房のある便所	ア 車椅子使用者用便房の設置	(設置数)	合・否	
		イ 車椅子使用者用便房および便所の出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否	

		ウ 出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
		エ 段がない	(最大段差) cm	合・否
		オ 必要に応じて手すり等の設置		合・否
		カ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	(2) 男子用小便器	ア 床置き等の小便器の設置	(設置数)	合・否
		イ 必要に応じて手すり等の設置		合・否
6	駐車場			
	(1) 車椅子使用者用駐車施設	ア 車椅子使用者用駐車施設の設置	(設置数)	合・否
		イ 建築物の出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設置		合・否
		ウ 幅員350cm以上	(幅員) cm	合・否
		エ 車椅子使用者用である旨の見やすい表示	(表示方法)	合・否
	(2) 車椅子使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路	ア 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		イ 段を設ける場合		
		(ア) 手すりの設置		合・否
		(イ) 回り段を設けない		合・否
		(ウ) 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
		ウ 幅員120cm以上(共同住宅および寄宿舎を除く。)	(幅員) cm	合・否
		エ 高低差がある場合は、7の項の(3)の傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
		オ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否
7	敷地内の通路	ア 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		イ 段を設ける場合		
		(ア) 手すりの設置		合・否
		(イ) 回り段を設けない		合・否
		(ウ) 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
		ウ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否
	(1) 1の項の建築物の出入口から道等または車椅子使用者用駐車施設に至る敷地内の通路	ア 幅員120cm以上(共同住宅および寄宿舎を除く。)	(幅員) cm	合・否
		イ 高低差がある場合は、(3)の傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
	(2) 建築物の出入口から道等に至る敷地内の通路	ア 視覚障害者誘導用床材の敷設または音声誘導装置等の設置	(講じた措置)	合・否
		イ 車路に接する部分、車路を横断する部分ならびに傾斜路および段の上端に近接する部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否

	(3) 傾斜路およびその踊り場	ア 内のり幅120cm以上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅)	cm	合・否
		イ 勾配12分の1以下	(勾配)		合・否
		ウ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(踏幅)	cm	合・否
		エ 手すりの設置			合・否
		オ 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)		合・否
		カ 傾斜路が踊り場および敷地内の通路と識別しやすい	(講じた措置)		合・否
8	洗面所（便所に併設するものを含む。）	ア 次のイおよびウに定める構造の洗面所の設置	(設置数)		合・否
		イ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)		合・否
		ウ 車椅子使用者が円滑に利用できる高さの洗面器の設置	(設置数)		合・否
9	浴室等	ア 次のイからキまでに定める構造の浴室等の設置	(設置数)		合・否
		イ 出入口の内のり幅80cm以上	(幅)	cm	合・否
		ウ 出入口に戸を設ける場合は、障害者、高齢者等が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)		合・否
		エ 出入口に障害者、高齢者等の通過の支障となる段がない	(最大段差)	cm	合・否
		オ 出入口に戸を設ける場合でガラスを使用するときは、安全な材質のもの	(ガラスの材質)		合・否
		カ 必要に応じて手すり等の設置			合・否
		キ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)		合・否
10	シャワー室等	ア 次のイからカまでに定める構造のシャワー室等の設置	(設置数)		合・否
		イ 出入口の内のり幅80cm以上	(幅)	cm	合・否
		ウ 出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)		合・否
		エ 出入口に車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差)	cm	合・否
		オ 必要に応じて手すり等の設置			合・否
		カ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)		合・否
11	観覧席等	ア 車椅子使用者用席の設置	(設置数)		合・否
		イ 車椅子使用者用席に至る通路に車椅子使用者の通行の支障となる段がない	(最大段差)	cm	合・否
		ウ イの通路に高低差がある場合は、2の項の(3)の傾斜路およびその踊り場の設置			合・否
	(1) 傾斜路およびその踊り場	ア 内のり幅120cm以上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅)	cm	合・否
		イ 勾配12分の1以下	(勾配)		合・否
		ウ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(踏幅)	cm	合・否
		エ 手すりの設置			合・否
		オ 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)		合・否
	(2) 車椅子使用者用席	ア 席の床が水平			合・否
		イ 席の幅90cm以上、奥行き110cm以上	(幅) (奥行き)	cm cm	合・否

12 公衆電話所	ア 出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	イ 出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	ウ 出入口に車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	エ 車椅子使用者が円滑に利用できる高さの電話台の設置	(設置数)	合・否
13 カウンター等	車椅子使用者が円滑に利用できる構造のカウンター等の設置	(設置数)	合・否
14 案内標示	高さおよび文字の大きさその他の表示内容に配慮し、障害者、高齢者等が円滑に利用できる案内標示板の設置	(設置数)	合・否
15 改札口等	ア 次のイからエまでに定める構造の改札口等の設置	(設置数)	合・否
	イ 内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	ウ 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	エ 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
16 授乳およびおむつ替えの場所	必要に応じて授乳およびおむつ替えのできる場所(ベビーベッド等付設)の設置ならびに出入口付近にその旨の表示	(設置数)	合・否

備考

- 1 「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数値または措置の内容等を記入してください。
- 2 「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。
- 3 変更の場合は、変更に係る整備項目について記入してください。

その2（公共交通機関の施設用）

整備基準適合確認表

整備項目	整備基準の内容	設計内容	適合状況
1 改札口	ア 内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	イ 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	ウ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	エ 視覚障害者誘導用床材の敷設		合・否
2 乗降場	ア 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	イ 縁端にホームドア、柵、点状注意喚起床材等の設置	(講じた措置)	合・否
	ウ 両端に点状注意喚起床材の敷設		合・否
	エ 両端に転落防止用の柵の設置		合・否
3 通路	ア 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	イ 段を設ける場合		
	(ア) 手すりの設置		合・否
	(イ) 回り段を設けない		合・否
	(ウ) 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	(オ) 段の上端に近接する通路および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否
	ウ 内のり幅120cm以上	(幅) cm	合・否
	エ 必要に応じて視覚障害者誘導用床材の敷設または音声誘導装置等の設置	(講じた措置)	合・否
	オ 傾斜路である場合		
	(ア) 両側に手すりの設置		合・否
	(イ) 両側に5cm以上の立ち上がり部の設置	(寸法) cm	合・否
	カ 移動円滑化された経路の設置		合・否
4 階段	ア 回り段を設けない		合・否
	イ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	ウ 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	エ 両側に手すりの設置		合・否
	オ 手すりの端部付近に点字による表示		合・否
	カ 階段の上端および下端に近接する通路および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否
	キ 両側に5cm以上の立ち上がり部の設置	(寸法) cm	合・否
5 便所	ア 出入口付近に男女の区分および構造を示す点字案内板等の設置		合・否
	イ 移動円滑化された経路と間の通路は、移動円滑化された経路と同等の構造		合・否

(1) 車椅子使用者用便房のある便所	ア 車椅子使用者用便房の設置	(設置数)	合・否
	イ 車椅子使用者用便房および便所の出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	ウ 出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	エ 段がない	(最大段差) cm	合・否
	オ 必要に応じて手すり等の設置		合・否
	カ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	キ 便房および便所の出入口に車椅子使用者用である旨の標識の設置		合・否
	ク 障害者、高齢者等の円滑な操作が可能な水洗器具の設置	(設置数)	合・否
(2) 男子用小便器	ア 床置き等の小便器の設置	(設置数)	合・否
	イ 手すりの設置	(設置数)	合・否
6 カウンター等	車椅子使用者が円滑に利用できる構造のカウンター等の設置	(設置数)	合・否
7 案内設備	ア 運行等の情報に関する文字表示および音声による案内設備の設置	(講じた措置)	合・否
	イ 昇降機、便所または乗車券等販売所付近に標識の設置	(設置数)	合・否
	ウ 公共用通路に直接通ずる出入口付近に次の(ア)および(イ)に定める設備の設置		
	(ア) 昇降機、便所または乗車券等販売所の配置を表示した案内設備	(設置数)	合・否
	(イ) 施設の構造および昇降機、便所または乗車券等販売所の配置を示す点字案内板等	(設置数)	合・否
8 乗車券等販売所等	ア 出入口を設ける場合		
	(ア) 内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	(イ) 戸を設ける場合は、自動開閉し、または車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	(ウ) 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	イ 移動円滑化された経路と間の通路は、移動円滑化された経路と同等の構造		合・否
9 券売機	障害者、高齢者等が円滑に利用できる券売機の設置	(設置数)	合・否
10 休憩設備	障害者、高齢者等の休憩設備の設置	(設置数)	合・否

備考

- 「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数値または措置の内容等を記入してください。
- 「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。
- 1 から10までに掲げる整備項目以外の部分がある場合は、建築物用の整備基準適合確認表の該当部分に記入してください。
- 変更の場合は、変更に係る整備項目について記入してください。

その3 (公園用)

整備基準適合確認表

整備項目	整備基準の内容	設計内容	適合状況	
1 出入口	ア 幅員180cm以上(車止め柵を設ける場合は、車椅子使用者通過部分の幅員90cm以上)	(幅員) cm (車椅子通過幅員) cm	合・否	
	イ 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否	
	ウ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	エ 直接車道に接する部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否	
2 園路	ア 幅員140cm以上	(幅員) cm	合・否	
	イ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	ウ 高低差がある場合は、オの傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否	
	エ 段を設ける場合			
	(ア) 手すりの設置		合・否	
	(イ) 回り段を設けない		合・否	
	(ウ) 粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否	
	オ 傾斜路およびその踊り場を設ける場合			
	(ア) 内のり幅120cm以上(段を併設する場合は、90cm以上)	(幅) cm	合・否	
	(イ) 勾配12分の1以下	(勾配)	合・否	
	(ウ) 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否	
	(エ) 手すりの設置		合・否	
	(オ) 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	(カ) 傾斜路が踊り場および敷地内の通路と識別しやすい	(講じた措置)	合・否	
	カ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否	
	キ 必要な部分に視覚障害者誘導用床材の敷設		合・否	
3 階段	ア 手すりの設置		合・否	
	イ 回り段を設けない		合・否	
	ウ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否	
	エ 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否	
4 駐車場				
	(1) 車椅子使用者用駐車施設	ア 車椅子使用者用駐車施設の設置	(設置数)	合・否
		イ 1の項の出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設置		合・否
		ウ 幅員350cm以上	(幅員) cm	合・否
		エ 車椅子使用者用である旨の見やすい表示	(表示方法)	合・否

(2) 車椅子使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路	ア 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	イ 段を設ける場合		
	(ア) 手すりの設置		合・否
	(イ) 回り段を設けない		合・否
	(ウ) 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	ウ 幅員120cm以上	(幅員) cm	合・否
	エ 高低差がある場合は、2の項のオの傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
オ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否	
5 改札口	ア 内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	イ 車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	ウ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
6 ベンチ等	必要に応じて障害者、高齢者等が円滑に利用できる構造のベンチ等の設置	(設置数)	合・否
7 案内標示	高さおよび文字の大きさその他の表示内容に配慮し、障害者、高齢者等が円滑に利用できる案内標示板を出入口付近に設置	(設置数)	合・否

備考

- 1 「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数値または措置の内容等を記入してください。
- 2 「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。
- 3 公園内に建築物を設ける場合は、建築物用の整備基準適合確認表の該当部分に記入してください。
- 4 変更の場合は、変更に係る整備項目について記入してください。

その4（路外駐車場用）

整備基準適合確認表

整備項目	整備基準の内容	設計内容	適合状況
1 駐車場			
(1) 車椅子利用者用駐車施設	ア 車椅子利用者用駐車施設の設置	(設置数)	合・否
	イ 出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設置		合・否
	ウ 幅員350cm以上	(幅員) cm	合・否
	エ 車椅子利用者用である旨の見やすい表示	(表示方法)	合・否
(2) 車椅子利用者用駐車施設に至る駐車場内の通路	ア 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	イ 段を設ける場合		
	(ア) 手すりの設置		合・否
	(イ) 回り段を設けない		合・否
	(ウ) 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	ウ 幅員120cm以上	(幅員) cm	合・否
	エ 高低差がある場合は、(3)の傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
(3) 傾斜路およびその踊り場	オ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否
	ア 内のり幅120cm以上	(幅) cm	合・否
	イ 勾配12分の1以下	(勾配)	合・否
	ウ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	エ 手すりの設置		合・否
	オ 粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	カ 傾斜路が踊り場および敷地内の通路と識別しやすい	(講じた措置)	合・否
	キ 排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否
2 案内標示	高さおよび文字の大きさその他の表示内容に配慮し、障害者、高齢者等が円滑に利用できる案内標示板を出入口付近に設置	(設置数)	合・否

備考

- 「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数値または措置の内容等を記入してください。
- 「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。
- 変更の場合は、変更に係る整備項目について記入してください。